

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		事業開始年度		平成3年～		根拠法令・例規等	備前市歴史民俗資料館設置条例
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	基本施策	03	歴史と文化の輝くまちづくり			
	小項目	施策	01	文化芸術の振興			
事務事業名		02	歴史民俗資料館管理運営事業		問合先	担当課(室)	生涯学習課
					職・氏名	文化係長	石井啓
					電話	0869-64-1841	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	備前市の歴史・文化などに興味のある人すべて。
目的(何のために)	郷土に関する資料の収集・調査・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解や文化財への認識を高める。
行政活動(どのような方法で)	常設展示による備前市の歴史文化の紹介。 テーマを決め、企画展の開催。 資料調査員による情報提供・調査。 備前歴史フォーラムの開催。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	備前市の歴史等についてわかりやすい説明や展示を行い、リピーターが増えるようにしていきたい。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
入館者数	人	2,217	2,561	2,372
備前歴史フォーラム延参加者数	人	184	84	100
企画展等開催回数	回	2	3	2
直接事業費	千円	5,041	8,982	9,049
必要人員	人	110人	0.11人	0.07人
事業費	千円	4,340	770	496
事業費計	千円	9,381	9,752	9,545
国・県支出金	千円			
受益者負担	千円			
繰入金	千円			
市債	千円			
その他()	千円			
一般財源	千円	9,381	9,752	9,545
受益者負担比率	%			

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
入館者数	人	2,217	2,561	2,372
結果指標量	人	2,217	2,561	2,372
対前年比	%	-	115.5%	92.6%
活動コスト	円	9,381,000	9,752,000	9,545,000
単位当たりコスト	円	4,231	3,808	4,024
企画展等開催回数	回	2	3	2
結果指標量	回	2	3	2
対前年比	%	-	150.0%	66.7%
活動コスト	円	9,381,000	9,752,000	9,545,000
単位当たりコスト	円	4,690,500	3,250,667	4,772,500

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
年間入館者数	目標値(A)	2,600	2,600	2,600	2,600
	実績値(B)	2,217	2,561	2,372	到達目標年度
	達成率(B/A)	85.3%	98.5%	91.2%	平成25年
成果指標設定の考え方・式や説明					
多くの人に来館してもらい、郷土の歴史や文化に触れる機会や情報を提供していくため、年間入館者数を設定した。					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	備前市の歴史や文化については、市内外からの問合せも多い。また小学生の勉強の場になっている。 事業をやめた場合、日常生活に支障をきたすことはないが、郷土について学ぶ機会を奪うことになる。歴史資料等についても散逸や失われる可能性がある。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	平成20年度はコスト削減等の見直しから休館日を週1日から2日に増やしたため、事業費は減少した。 しかし、入館者数と企画展開催数も減少してしまった。また、市民から休館日を週1日に戻すよう要望もあり、21年度は休館日を1日に戻すよう検討している。 企画展の開催費については、助成金を活用して事業を行った。

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	2,600	結果指標量②	2	成果指標量	2,600	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	企画展の開催については、助成事業の申請を行うなどコスト削減に努めている。また、館内の清掃についても見直しを行った。今年度は、資料館の館藏品について整理を行い、より多くの方に市の歴史や文化に触れる機会を提供していく。						

総合評価		評価区分<A~E>	B
資料館事業の企画展開催については、平成19年から助成事業の申請を行うなど、コスト面について見直しを行っている。また、館運営に関しても清掃業務や光熱水費の見直しを行っており、効率性についてはわずかではあるが、成果が出ている。 展示内容については、市資料調査員や来観者の意見をききながら、何度も来館したくなるような魅力ある展示をしていく必要がある。 また、小学生なども多く訪れるので、わかりやすい展示をめざす。		妥当性 効率性 有効性	

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	見直しを行いながら、事業を継続していく。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			
効率性	現在入館料は無料であるが、今後受益者負担についても検討していく必要がある。	平成23年度	受益者負担(入館料)によりコスト削減が見込まれる。				

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりのコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。